



# ひとひらレポート2022 No.7

このレポートは支援者の皆さんへお届けするワンドロップの2022年度年間報告書です。

ワンドロップ

OneDrop (バングラデシュ教育支援の会) は2010年12月に「バングラデシュに楽しい学校をつくろう」という目的で結成されたボランティアグループです。2016年クミッラの地に小さな学校を開校しました。現在5学年100名の子どもたちが学んでいます。楽しい学校づくりを目指して支援は続いています。

## 第一期生

2016年入学

2020年卒業



## 第二期生

2017年入学

2021年卒業



2023年が始まりました。コロナは未だ収束していませんが、人々の側の捉え方が随分変わったように思います。以前は感染を恐れ、いろんな活動が制限されていたのですが、最近はかなり緩和されています。

イベントの開催も少しずつ戻ってきました。2022年は、国内でバザーや写真展をたくさん実施できました。

そして、コロナの感染が少し収まったように思えた 2022 年 7 月にやっと現地に行くことができました。第 21 回スタディツアーです。2 年半ぶりにワンドロップ小学校に入り、子どもたちと出会うことができました。初めての卒業式にたくさんの卒業生が参加してくれました。成長した姿を見ることができてよかったです。

本年 2023 年も 1 月末からバングラデシュへ行きます。どんな感動が待っているのかワクワクしています。やはり、現地を見ることが大切だなあと実感しています。

今回から、ひとひらレポートに会計報告のデーターを掲載することにしました。ワンドロップの内情、特に経済事情を皆様と共有したいと考えました。2022 年度は収入よりも支出が多かったです。2023 年度は、ワンドロップの活動がより広がっていくように、さらに努力しますので、どうぞよろしくご支援をお願いいたします。

以下は、2022 年度の活動報告です。

### <バングラデシュ現地での活動>

#### (1) 第 21 回スタディツアー (2022. 7) で 2 年半ぶりに現地を訪問

##### <卒業式>

一期生と二期生に念願の卒業式を実施し、彼らに手作りの卒業アルバムを授与しました。開校以来初めての卒業式の開催です。事前に在校生たち、先生方と打合せと準備をし、卒業生たちを招待して式が挙行されました。生徒たちの喜ぶ顔を見ると、感慨深いものがありました。それぞれ 2016 年と 2017 年に 20 名で入学しましたが、家庭の事情で仕事をしたり、結婚したりで 5 年間の間に学校を去っていった者もいました。結局、一期生 15 名と二期生 16 名が 5 年間の義務教育修了証を手にしてワンドロップ小学校を巣立っていきました。

しかし、中学校に進学して勉強を続けている子どもは、7 月の時点で 4 名しかいませんでした。コロナによる経済的打撃を大きく受ける貧困層の人々は、失業、物価上昇などでますます日々の暮らしが困難になっています。卒業生たちも食べるために仕事をすることを余儀なくされるのが実情です。貧困という大きな壁を見せつけられた気がします。

##### <入学式>



コロナの間 (2021&2022) に 6 期生と 7 期生が入学しています。今回のツアーが初対面でした。7 月の時点で 2 年生と 1 年生です。彼らの入学式を実施しました。日本から手作りのワンドロップのバッグと文房具を渡しました。式には恒例になったお祝いのくす玉割りのあと、ルニ校長が生徒たちにキャンディレイを首にかけてやりました。6 月にユニフォームが配布されたばかりでした。これで、やっとワンドロップ小学校の生徒になりました。彼らの成長が楽しみです。

### 〈ランチ〉

ワンドロップの学校は2部制ではないのでお昼にビスケットやお菓子のおやつのようなものを配布していました。2019年から米とカレーの完全給食になりました。ラブリー先生が家族総出で毎日全校生徒分を料理して運んでくれていました。2022年8月からは、タリクさんが経営するレストランから当日の出席人数分のランチを学校へ運んでもらうことになりました。一皿の単価は上がりますが、具だくさんの美味しいカレーを食べることができています。以前から気になっていた子どもたちの健康状態が改善されることを願っています。

現地の最近の食糧事情ですが、12月に現地から送られてきた画像に、生徒ではない小さな子どもがランチを受け取っている様子がありました。聞いてみると、近所に住む母親が子どもを連れてきて、食べ物がなくて困っているから子どもに少し分けてほしいと頼んだということです。ここでも、貧困という壁を見せつけられました。

### 〈先生たち〉

6人の教師と1人の用務員が勤務しています。全員、女性です。ラブリー先生が開校当時から働いていて一番のベテランです。今回のツアーでラブリー先生を主担の先生と位置づけました。校長先生（ルニ）、副校長先生（ヤスミン）、主担当（ラブリー）と学校の組織がクリヤーになりました。

初めての卒業式では、先生たちが、司会、進行の分担を決め、リハーサルをしながら式を進めました。入学式、運動会は先生たち主導でできています。

### 〈施設、教室環境、学級文庫〉

教室やトイレがあまりきれいに掃除されていません。グラウンドにもごみがあります。式の前には熱心に大掃除をするのですが、日常的に掃除をすることができていないようです。公共のものを大事にするということに無頓着のような気がします。

今回、3年、4年、5年の各クラスに学級文庫として、20冊ずつ本を入れたボックスを設置しました。たくさん本を読んでいろいろなことを学んでほしいものです。学級文庫はこれからも充実させていきたいと考えています。



## <日本国内での募金、啓発活動>

### <(2) コロナの制限緩和で国内での活動がより多くできるようになりました>

#### 〈バザー〉

コロナの影響で多くのイベントが中止になっていた時、対策を相談しました。イベントを待つばかりではなく、ワンドロップがイベントを作る「OneDropDay」という活動を実施しました。場所を見つけて、カレーの販売やリサイクル品、手作り品を販売しました。初めての

試みで人が集まるかどうかとても心配でしたが多くの人が駆けつけてくれ助けられました。2022年の夏以降はマルシェやイベントが復活してきたので楽になりました。

この間、困難な時にどうするか知恵を出し合って実行するという経験ができ、大きな力になったと思います。

### 〈写真展〉

例年通りに開催できました。ワンドロップの活動が続いていることを支援者のみなさんに伝えることができ、継続してランチキャンペーンやひとひら募金をしてくださる方が増えました。

### 〈SNSを使った広報活動〉

ライン配信に登録していただき、イベントや写真展などの連絡ができています。フェイスブック、グループ、ページでのブログ配信も同時に行っています。HPも順次更新をかけていますが、インターネットをあまり使用されない支援者への告知をどうしたらいいか、その方法を模索しています。

### 〈インターネットを使った販売活動〉

2021年末にインターネットでクッキー販売をしました。新しい取り組みでした。また、子どもたちの笑顔が掲載された2023年のオリジナルカレンダーを作り、2022年末からインターネット販売を実施しています。カレンダーの申し込みは1月末まで受け付けています。まだ宣伝活動が下手なので注文が殺到するまでには至りませんが、このようなインターネットを使った募金活動はこれからも続けていこうと思います。

このカレンダーはワンセット1000円です。その金額で、子ども一人の1か月分のランチの費用が募金に充てられます。子どもたちの笑顔いっぱいのカレンダーが卓上にあるのは心がなごみます。

2022年度 収支報告書				
OneDropバングラデシュ教育支援の会				
2022年1月1日 ～ 2022年12月31日				
【収入の部】		【支出の部】		
1 寄付	810,766	1 現地運営費	1,247,063	
ひとひらキャンペーン	(274,037)	先生給料	(631,069)	
2022ランチキャンペーン	(458,000)	ランチ	(342,504)	
ひとつぶキャンペーン	(0)	食料支援 (ラマダン、イード、 その他学校行事)	(140,873)	
クッキーキャンペーン	(18,732)	ユニフォーム支援	(91,545)	
その他	(59,997)	アルバム製作	(41,072)	
2 補助金等	0	2 広報費(バザー等経費)	52,318	
3 利息雑収入	32	3 事務局費	0	
4 収益事業収入 (バザー等売上)	282,890	年度支出計	1,299,381	
年度収入計	1,093,720	次年度繰越	3,288,449	
前年度繰越	3,494,110	支出計	4,587,830	
収入計	4,587,830			

### 〈2022年の会計収支報告〉

ワンドロップは法人格を持たない任意団体です。言わば部活動のような規模の小さなグループです。活動はできるだけ経費を抑えてひたすら現地で使えるように貯めてきました。支援に携わる方々は遠方から、手弁当で手伝いに来てくださいます。農家の方から野菜をいただきカレーの材料に充ててきました。写真展で使う写真にかかる大量のインク代も紙も、すべてそれらをしてくださる方々の支援のお気持ちです。今回、

はじめて公開する収支報告書からその意図を察していただけたらと思います。いつも会計は自転車操業ですが、バングラデシュの子どもたちが困ったときに、コロナ時の緊急食糧支援の時のように、すぐに動けるように、これからも緊縮財政で操業してまいります。

### <「教育理念」を現地スタッフと共有しようと考えています>

ワンドロップは、バングラデシュの田舎、コミッラの村に小さな楽しい学校を作るという目的をずっと追い求めています。生徒は近隣に住む貧しい子どもたちです。親の都合で子どもたちが学校に来られなくなるという現実が多々あります。貧困の壁です。貧困の原因であるコロナも経済も、私たちの手に負えるものではありません。ワンドロップ小学校を中途退学しなければならない生徒がいます。卒業できても上の学校に進むことができない生徒もいます。ワンドロップ小学校で学んだ子どもらの将来が豊かに開かれていくことは、なかなか期待できないのが現実です。

そこで一つの考えに到達しました。今、目の前にいる子どもたちがしっかりした大人になれば、貧しくても心ゆたかな人になれるのではないか。そこで、今更ではありますが、マジウンダーワンドロップ小学校の教育理念というものを作りました。このアイデアを現地の職員たちと共有できるように、ワンドロップの想いを伝えていこうと思っています。

#### **Majumder OneDrop Elementary School が目指すもの**

学校はよりよい大人になるために学ぶ場所です。

よりよい大人とは、

1. 相手のことを考える、優しい人。
2. 誰かを助けることが喜びと思える人。
3. 自分の意見を持って自ら進んで行動する人。
4. 将来に夢や希望を持ってそれを実現するために努力する人。
5. 健康で意思が強い人。

さらに、生徒たちに努力してほしいことも作ってみました。

#### **楽しい学校生活をおくるために努力しましょう。**

1. 時間を守る。
2. 感謝の気持ちを伝える。まず、「ありがとう！」から。
3. 自分を清潔にする。
4. 教室、学校、持ち物をたいせつに扱う。
5. ともだちをたいせつに。助け合う。教え合う。注意し合う。

日本のサポーターの皆様はどう思われますか。是非、ご意見をお聞かせください。

長い報告書になってすみません。

今年も、ワンドロップは元気に活動を続けていきます。

どうぞ皆様もワンドロップとともに、できるときにできる活動でお会いしましょう。

よろしく願いいたします。

ワンドロップ代表 大西登志子

2023年1月の予定です。

1月13日（金）小野市立河合小学校で異文化共生講演会 3年、4年、5年生にお話しをします。

1月31日（火）～2月14日（月）第22回スタディツアーでバングラデシュへ参ります。7名の参加  
帰国後報告会を開催します。

詳細が決まりましたら、HPやブログ、ライン配信などでお知らせいたします。



代表 大西登志子(Toshiko Onishi)

Web: <https://onedropbangladesh.jimdofree.com/>

Mail: [onedropbangla@yahoo.co.jp](mailto:onedropbangla@yahoo.co.jp)

Blog: <https://www.facebook.com/OneDropBangladesh>

Tel: 090-6603-6721

ワンドロップは2010年12月「バングラデシュに楽しい学校を作ろう」という目的で集まった任意団体です。2011年コミッラを学校建設予定地と決め、5年後2016年1月に小さな平屋の学校が完成しました。近隣にすむ5歳～7歳の貧しいけれど意欲のある20名が入学しました。2020年には1年から5年生までそろった私立小学校として認可されました。校舎も3階建てに増築されました。そして、2020年末、第一期生が、2021年末、第二期生が、2022年末、第三期生が巣立っています。どんなに生徒たちの生活環境が貧しく過酷であろうと、この学校では学ぶ喜びを感じることができます。その喜びは生きる希望につながります。

#### ◎支援者の皆さまへ

・ワンドロップは法人格を持たない「任意団体」です。

お送り下さった支援金については税金控除の対象となりません。予めご了承くださいませよう、お願いいたします。

・未使用の切手、書き損じハガキ(官製ハガキ・年賀ハガキ)をお送りください。引き出しの中などに眠っているものをお送りいただければ幸いです。支援者様へのお手紙の発送に使わせていただきます。

・メールやラインでの配信をご希望の方はご連絡ください。